

より良い学びに向けて

Keywords : 応用言語学, 第二言語習得研究, 英語教育

◆研究概要等

私の研究分野は言語の獲得、習得や教育等を研究し、それを社会の様々な領域に応用していく応用言語学です。特に第二言語習得研究と英語教育が専門となります。母語ではない第二言語としての英語を学習者がどのように習得するのか、言語行動の分析から原理や規則を見つけようとしています。そして、その研究結果を踏まえ、より良い学びとは何かを考え、教育に生かすことが目標です。

応用言語学を学ぶために社会人として大学院に進んだきっかけは、勤めていた英会話学校で出会った学習者の方々に、より良い学習方法を伝えたいと思ったことでした。当時、効果的といわれる学習方法は知っていましたが、なぜそれが効果的なのかはよく分かりませんでした。理論を知ることで抱いていた様々な疑問が解消されると思ったのです。しかし、実際は知識が増えるほど、研究を進めるほど、新たな疑問が生まれ、今に至っています。

■研究テーマ等

① 第二言語習得における潜在記憶の役割に関する研究

反復することで次第に速く、効率よくものごとをおこなえるようになることは誰も経験すると思いません。これは潜在記憶の働きによるものと考えられており、言語習得の基盤であると言われていています。私は4技能(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)のうち、特にリスニング能力の育成を重視しています。そのため、第二言語の音声処理に焦点をあて、潜在記憶に関連する認知的プロセスを探る目的で様々な実験や調査をおこなっています。博士論文では、これまでおこなった実験的アプローチによる研究結果から、第二言語の音声処理における潜在記憶の役割を考察し、英語学習及び教育に向けた実践的な示唆をまとめました。しか

教養・基礎教育部門

講師

まつだ のりこ

松田 紀子

noriko.matsuda@socio.kindai.ac.jp



<https://researchmap.jp/nmhm>

し、まだまだ分からないことが多いため、これからも研究を続けていきたいと思っています。

② 外国語学習における視聴覚メディア教材の有効性に関する研究

日常生活で英語に触れる機会が少ない日本のような環境では、話しことばの習得に必要な音声インプットの絶対量が不足するという問題があります。視聴覚メディア教材の活用はその問題の解決策の1つと考えられます。最近(2019年現在)は、めざましい発達をとげているTTS(Text-To-Speech)合成音声言語学習に利用した際の学習効果を検証しています。将来的にはこうした研究成果を生かし、英語教育現場で使用できる視聴覚メディア教材の開発につなげたいと考えています。

③ 第二言語の語彙学習のメカニズムに関する研究

私たちの脳内には心的辞書(メンタルレキシコン)が存在し、そこに語彙に関する知識が蓄えられているという考え方があります。この心的辞書から語彙項目の情報を検索し、取り出す認知的プロセス

に注目し、第二言語の語彙学習のメカニズムの一端を解明しようと試みています。最近(2019年現在)は、特に英語の話しことばと書きことばの70%を構成するといわれているコロケーションについて研究しています。

●主な論文・作品・表彰・特許等

<論文>

Matsuda, N. (2018). Familiarity and frequency effects on on-line L2 collocational processing. In Y. Maruhashi, K. Yutani, & A. Sakamoto (Eds.), *Collected essays on comparative studies* (pp. 146–156). Tokyo, Japan: Eikosha.

Matsuda, N. (2017). *The role of implicit memory in second-language speech processing: Auditory priming in Japanese learners of English* (Unpublished doctoral dissertation). Kwansei Gakuin University, Nishinomiya.

Matsuda, N. (2017). Impact of talker variability on L2 word recognition among Japanese EFL learners, *Vocabulary Learning and Instruction*, 6 (2), 8–22.

Matsuda, N. (2017). Evidence of the effects of text-to-speech synthetic speech to improve second language learning, *JACET Journal*, 61, 149–164.

Matsuda, N. (2013). Second-language speech processing: Auditory word priming in Japanese EFL learners and native English speakers, *Journal of the Japan Society for Speech Sciences*, 14, 43–62.

Matsuda, N. (2012). Effects of auditory word repetition on speech processing of Japanese EFL learners, *Language Education & Technology*, 49, 143–172.

<表彰>

2018年8月 大学英語教育学会賞(JACET賞) 論文部門 受賞

▲趣味等

1つ目は音楽鑑賞。特に洋楽が好きです。英語の授業ではよくリクエストを募っています。一時期ゴスペルに興味をもって歌っていたこともあり、歌うのも好きです。2つ目はペットのウサギ(ホーランドロップ)と遊ぶこと。お世話になっている獣医さんに長寿で表彰状をいただいたときは本当に嬉しかったです。

◆ゼミの宣伝等

ゼミでは、何より主体性を重んじます。また、1~2年生のうちには大学の学びに必要な基本的なスキル(読み、書き、発表、討論等をするためのスキル)を身につけることに力を注ぎたいと考えています。皆さんの目標達成に向け、一緒に学ぶ機会を楽しみにしています。